



組み込みモードでの Cisco Nexus Dashboard Data Brokerの展開

この章では、Nexus シリーズ スイッチに Cisco Nexus Dashboard Data Broker を展開する手順の詳細について説明します。p

リリース 3.10.1 から、Cisco Nexus Data Broker (NDB) の名前は、Cisco Nexus Dashboard Data Brokerに変更されました。ただし、GUIおよびインストールフォルダ構造と対応させるため、一部のNDBのインスタンスがこのドキュメントには残されています。NDB/Nexus Data Broker/Nexus Dashboard Data Brokerという記述は、相互に交換可能なものとして用いられています。

この章のアップグレード/インストール手順に進む前に、Cisco.com の Nexus Dashboard Data Broker イメージと、Linux にコピーされたイメージファイルの **md5sum** を比較してください。次のコマンドを使用してを確認します (Linux の場合)。

```
cisco@NDB-virtual-machine:~/3.10.4/$ md5sum ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip
Displayed output: 685a0fe58f3280590dd878b7835241aa
ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip
```

Nexus Dashboard Data Broker サーバーと Nexus Dashboard Data Broker スイッチ間の TLS 証明書
の生成は、組み込みモードの展開ではサポートされていません。TLS の詳細については、
Managing TLS Certificate, KeyStore and TrustStore Files の章 (Cisco Nexus Dashboard Data Broker
Configuration Guide) を参照してください。

- [NX-API 用の Cisco Nexus Dashboard Data Broker Embedded ソフトウェアの入手](#) (2 ページ)
- [NX-OS 9.3\(1\) 以降の NX-API モード用の Cisco Nexus Dashboard Data Broker 組み込みソフトウェアのインストールとアクティブ化](#) (2 ページ)
- [Cisco NXOS リリース 9.3\(1\) 以降でのリリース 3.10.4 へのアップグレード](#) (5 ページ)

NX-API 用の Cisco Nexus Dashboard Data Broker Embedded ソフトウェアの入手

手順

ステップ 1 Web ブラウザで、[Cisco.com](https://www.cisco.com) を参照します。

ステップ 2 下方向へスクロールして、[ダウンロード (Downloads)] をクリックします。

ステップ 3 [製品の選択 (Select a Product)] フィールドに、「Nexus Dashboard Data Broker」と入力します。必要な埋め込み NXAPI ファイルが表示されます。

入力を求められたら、Cisco.com のユーザ名およびパスワードを入力して、ログインします。

ステップ 4 **Cisco Nexus Data Broker Release** アプリケーションバンドルの zip ファイルをダウンロードして解凍します。

ステップ 5 アクティベータ スクリプトをダウンロードします。NDB をアクティブ化するために必要な Python アクティベータ スクリプトは、<https://github.com/datacenter/nexus-data-broker> で入手できます。

(注)

インストール プロセスを開始する前に、Github から最新のスクリプトを入手してください。

次のタスク

サポートされている Cisco Nexus シリーズ スイッチにソフトウェアをインストールします。サポートされているプラットフォームのリストについては、*Cisco Nexus Dashboard Data Broker* リリース ノートを参照してください。

NX-OS 9.3(1) 以降の NX-API モード用の Cisco Nexus Dashboard Data Broker 組み込みソフトウェアのインストール とアクティブ化

Cisco Nexus Dashboard Data Broker は OVA としてインストールされず、ゲストシェルにインストールされます。NXOS 9.3(1) 以降のリリースに Cisco Nexus Dashboard Data Broker-Embedded ソフトウェアをインストールするには、Nexus Dashboard Data Broker アクティベータ スクリプトの NDBActivator4.0_9.3_plus.py を使用します。

アクティベータ スクリプトは、次の機能を実行します。

- Guestshell リソースのサイズを変更します。

- ndb フォルダを解凍して、/usr/bin ディレクトリに配置します。
- ゲストシェルを管理 VRF に設定します。

始める前に



- (注) デフォルトでは、既存の Cisco Nexus Data Dashboard Broker-Embedded アプリケーションがインストールされ、アクティブになっている場合、Cisco Nexus Dashboard Data Broker-Embedded の新しいバージョンをインストールすることはできません。python bootflash コマンドで **--force** 属性を指定し、アクティベーター スクリプトが既にアクティブ化されている場合でも、アクティベーター スクリプトを強制的に実行できます。次に例を示します。

```
Syntax: python <file path>NDBActivator4.0_9.3_plus.py -v guestshell+ <zip file path>
--force
```

```
Example: python bootflash:NDBActivator4.0_9.3_plus.py -v guestshell+
/bootflash/ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip --force
```



- (注) Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションをアンインストールするには、**guestshell destroy** コマンドを使用して Guestshell を破棄します。Nexus Dashboard Data Broker のインスタンスがゲストシェルに存在し、新しい Nexus Dashboard Data Broker インスタンスをインストールする必要がある場合は、既存のゲストシェルを破棄して、ゲストシェルと Nexus Dashboard Data Broker を再インストールする必要があります。

```
N9K-switch# guestshell destroy
```



- (注) NXAPI モードを無効にしてから有効にした後、ノードで **nxapi use-vrf** 管理コマンドを再構成する必要があります。



重要

ブートフラッシュに十分な領域を使用できることを確かめてください。
ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip ファイルは、解凍プロセスのため、ブートフラッシュ (/volatile フォルダ) に合計で ~600 MB のスペースを必要とします。このスクリプトは、8GB を超えるメモリを搭載した NXOS プラットフォーム、バージョン i6(1) でのみ動作します。

手順

ステップ 1 switch# copy ftp://10.10.10.1 NDBActivator4.0_9.3_plus.py bootflash:vrf management

NDBActivator4.0_9.3_plus.py を、ダウンロードしたディレクトリからスイッチにコピーします。HTTP、FTP、SSH などのさまざまなソースからファイルをダウンロードできます。

ステップ 2 switch# **copy ftp://10.10.10.1 ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip bootflash:vrf management**

Cisco Nexus Data Broker Embedded パッケージを、ダウンロードしたディレクトリからスイッチにコピーします。HTTP、FTP、SSH などのさまざまなソースからファイルをダウンロードできます。

ステップ 3 switch# **show virtual-service list**

コピー プロセスのステータスを監視します。

ステップ 4 switch# **guestshell enable**

ゲストシェルを有効化します。

ステップ 5 switch# **python bootflash:NDBActivator4.0_9.3_plus.py -v guestshell+
/bootflash/ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip**

スイッチに Cisco Nexus Dashboard Data Broker-Embedded パッケージをインストールします。

ステップ 6 switch# **show virtual-service list**

インストールのステータスを監視します。

(注)

Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションを開始するには、**guestshell enable** コマンドを使用します。Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションが Python スクリプトを介して開始された場合、ゲストシェルは自動的に有効になります。

(注)

Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションを停止するには、**guestshell disable** コマンドを使用します。Nexus Dashboard Data Broker を有効にするには、**guestshell enable** コマンドを使用します。

(注)

インストールが正常に完了するまで続行しないでください。Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションは、正常にインストールされると起動します。

ステップ 7 switch# **show processes cpu sort | grep java**

例 :

```
switch# show processes cpu sort | grep java
```

```
19587 3 6 551 0.00% java
```

```
switch#
```

Nexus Dashboard Data Broker が正常にインストールおよび開始されたかどうかを確認します。

次のタスク

HTTPS を使用して Cisco Nexus Dashboard Data Broker GUI にログインします。Cisco Nexus Dashboard Data Broker GUI のデフォルトの HTTPS Web リンクは、
`https://IP_address:8443/monitor` です。ユーザー名とパスワードを入力します（デフォルト値は admin/admin）。

Cisco NXOS リリース 9.3(1) 以降でのリリース 3.10.4 へのアップグレード

このプロセスでは、GUIを使用して構成をダウンロードし、アップグレードを実行してから、構成をアップロードします。このプロセスは、リリース 3.10 以降に適用されます。

Cisco Nexus OS の I4(6) から I6(1) および I7(1) へのアップグレードの詳細については、*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Software Upgrade and Downgrade Guide, Release 9.3(x)*を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Nexus Dashboard Data Broker GUI にログインします。
- ステップ 2** [管理 (Administration)] > [バックアップ/復元 (Backup/Restore)] に移動します。[バックアップとローカル バックアップ (Backup and Backup Locally)] をクリックして、構成を zip ファイル形式でダウンロードします。
- ステップ 3** NDBActivator4.0_9.3_plus.py をダウンロードしたディレクトリからスイッチにコピーします。HTTP、FTP、SSH などのさまざまなソースからファイルをダウンロードできます。
- 例：
- ```
switch# copy scp://10.10.10.1 NDBActivator4.0_9.3_plus.py bootflash:vrf management
```
- ステップ 4** Cisco Nexus Data Broker Embedded パッケージをダウンロードしたディレクトリからスイッチにコピーします。HTTP、FTP、SSH などのさまざまなソースからファイルをダウンロードできます。
- 例：
- ```
switch# copy scp://10.10.10.1 ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip bootflash:vrf management
```
- ステップ 5** コピー プロセスのステータスを監視します。
- 例：
- ```
switch# show virtual-service list
```
- ステップ 6** ゲストシェルを有効化します。
- 例：
- ```
switch# guestshell enable
```
- ステップ 7** スイッチに Cisco Nexus Data Broker Embedded パッケージをインストールします。

例：

```
switch# python bootflash:NDBActivator4.0_9.3_plus.py -v guestshell+  
/bootflash/ndb1000-sw-app-emb-i6-plus-k9-3.10.4.zip
```

ステップ 8 インストール プロセスのステータスを監視します。

例：

```
switch# show virtual-service list
```

Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションを停止するには、`guestshell disable` コマンドを使用します。

(注)

インストールが完了するまで続行しないでください。Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションは、正常にインストールされると起動します。

ステップ 9 Nexus Dashboard Data Broker が正常にインストールされ、開始されたかどうかを確認します。

例：

```
switch# show processes cpu sort | grep java  
Example:  
switch# show processes cpu sort | grep java  
19587 3 6 551 0.00% java
```

ステップ 10 実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

例：

```
switch(config)# copy running-config startup-config
```

ステップ 11 ステップ 1 でダウンロードした Cisco Nexus Dashboard Data Broker 3.10.4 構成を Cisco Nexus Dashboard Data Broker ユーザーインターフェイス (UI) にアップロードします。**[管理 (Administration)] > [バックアップの復元 (Backup Restore)] > [ローカルに復元 (Restore Locally)]** に移動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。